

下水道事業におけるストックマネジメントに関する手引き（案）の検討方針

目次案	骨子	検討方針	工程	
はじめに	<ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメントの必要性 ・手引き発行の意義・経過等 ・活用のすすめ 	・事務局で素案を作成し、滝沢委員長にチェックしていただく予定。	第3回	
委員名簿	本日の主な審議内容	・ストックマネジメント検討委員会の委員名簿を掲載する。	・H21年度及びH22年度の名簿整理	第1回
第1章 総則				
第1節 適用	・適用対象、適用範囲を示す。	・事務局で原案作成する。	第1回	
第2節 手引きの構成	・手引きの目次構成や使い方を示す。			
第3節 用語の定義	・重要な用語の定義を示す。	・掲載する用語の抽出、定義や解説を作成する。	第2回	
第2章 下水道事業におけるストックマネジメント				
第1節 スtockマネジメントの定義	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業におけるストックマネジメントの定義を示す。 ・アセットマネジメントや長寿命化計画との関係や対象範囲の違い等を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定義は「基本的な考え方」より ・関係性や対象範囲の違いは、事務局で原案作成する。 	第1回以降	
第2節 下水道事業におけるストックマネジメントの位置づけ	・ビジョンや経営計画及び改築事業以外の事業との関係等を示す。	・事務局で原案作成する。	第1回以降	
第3節 目標設定とアカウントビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業の目標設定と施設管理の目標設定の考え方と関係を示す。 ・下水道事業のストックマネジメントにおけるアカウントビリティの内容や住民参画のあり方を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局で原案作成する。 ・自治体委員にヒアリングし、報告する。 ・アカウントビリティや住民参画のあり方の内容を示す。 	第2、3回	
第4節 施設管理計画の検討方針	・管路施設と処理場等施設の管理計画の取り合いや投資計画、点検・調査計画及び長寿命化計画の検討方針とその関係を示す。	・包括的なストックマネジメント手法の考え方を整理する。	第2回	
第3章 管路施設管理計画				
第1節 基本的な考え方	・管路施設の老朽化対策について、一定のサービスレベルを維持するとともにライフサイクルコストの最小化を図るため、必要な改築事業量（延長、事業費）や点検・調査の実施手順を明らかにする。	・昨年度検討委員会での議論をもとに、手引き案を作成した。	第1回以降	

注：「工程」の“第1回以降”とは、第1回委員会以降に各委員に資料送付する予定

下水道事業におけるストックマネジメントに関する手引き（案）の検討方針

目次案	骨子	検討方針	工程
第2節 管路施設の目標設定	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的目標（管路施設の老朽化対策が目指すべき方向）を示す。 ・当該市町村の総合計画、他の対策との優先順位、住民意見を踏まえ、実現性を勘案して設定 ・利用者や住民に分かりやすい指標で示す ・この目標に基づき、下水道管理者が施設を管理するうえで利用しやすい管理目標を、計画策定の過程で設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度検討委員会での議論をもとに、手引き案を作成した。 	第1回以降
第3節 基礎データの整理	<ul style="list-style-type: none"> ・検討に必要な基礎データを収集・整理 <ul style="list-style-type: none"> ▶投資計画の検討に必要なデータ ▶点検・調査計画の検討に必要なデータ ▶健全率予測式等の検討に必要なデータ 		
第4節 健全率予測式の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・個別管路の健全度予測が困難なため、管路全体に占める健全な管路の割合（健全率）でマクロ的に劣化を予測（注：劣化箇所は特定できない） ・健全率予測式によって、必要対策量を算定 ・点検・調査データが十分にある場合は、独自に予測式を設定 ・点検・調査データが十分でない場合は、既存の予測式を活用 		
第5節 投資計画の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・戦略的目標を達成するため、対策に必要な投資について検討 ・コストとリスクのバランスを勘案し、実現性を加味した最適な投資シナリオを選定 ・①基本条件の整理、②既往管渠の健全度評価、③改築シナリオの設定、④改築シナリオの評価、⑤最適シナリオの選定 ・検討結果をもとに、管理目標を具体的な数値量として設定 ・ストックマネジメントの検証（効果的・効率的施設管理が実施されているか検証）及び住民等への情報提供を目的に、管理の状況、管理レベル、管理の効率性を数値化（P I） 		

下水道事業におけるストックマネジメントに関する手引き（案）の検討方針

目次案	骨子	検討方針	工程
第6節 点検・調査計画の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・対策が必要な箇所を抽出するために、効率的・効果的な点検・調査計画を検討 ・優先順位、量、方法や実施時期（頻度）を検討 ・【優先順位】リスク評価によって決定する。 ・【量】必要改築量をもとに、点検・調査の優先順位と健全率を勘案して算定 ・【方法】健全度と管渠の構造的不具合によるリスクの大きさを考慮して、効率的・効果的な方法を選択 ・【実施時期（頻度）】劣化特性（健全度の低下速度など）などを考慮して、適正な時期（頻度）を設定 	・昨年度検討委員会での議論をもとに、手引き案を作した。	第1回以降
		・維持管理について、管路管理業協会等にヒアリングを行い、成果を反映する。	第2回
		・O&Mについて充実させる。	第3回
第7節 管路施設管理計画のとりまとめ・活用	・計画をとりまとめるとともに、わかりやすい形で整理し、関係者等へ情報提供する。	・昨年度検討委員会での議論をもとに、手引き案を作成した。	第1回以降
第4章 処理場等施設管理計画			
第1節 基本的な考え方	・排水・処理機能（サービス）のレベルを一定の水準以下に低下させないことを前提に、ライフサイクルコストの最小化を図るために処理場等施設管理計画を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度検討委員会での議論をもとに、手引き案を作成した。 	第1回以降
第2節 処理場等施設の目標設定	・計画の策定・評価に当たり、戦略的目標と管理目標を設定する。		
第3節 基礎データの整理	<ul style="list-style-type: none"> ・検討に必要な基礎データを収集・整理 <ul style="list-style-type: none"> ▶投資計画の検討に必要なデータ ▶点検・調査計画の検討に必要なデータ ▶健全度予測式等の検討に必要なデータ 		
第4節 重要度の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・管理方法の設定、対策優先順位の検討、点検・調査時期の設定の際に用いる ・機能、能力、コストの面から検討 		
第5節 寿命の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・重要性が高く劣化の予兆が測れるもの（状態監視保全）は健全度予測式で寿命設定 ・上記以外（時間計画保全や事後保全）は実績等から期待される耐用年数で寿命設定 		

注：「工程」の“第1回以降”とは、第1回委員会以降に各委員に資料送付する予定

下水道事業におけるストックマネジメントに関する手引き（案）の検討方針

目次案	骨子	検討方針	工程
第6節 投資計画の検討	<ul style="list-style-type: none"> 個別施設の対策の時期と投資額を検討 上記の積み上げによって全体量を算定 最適な投資シナリオを選定できるよう、多数のシナリオを設定 対策優先順位は、健全度と重要度により検討 設備と土木で対策時期を調整 コストとリスクを勘案し、最適なシナリオを選定 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度検討委員会での議論をもとに、手引き案を作成した。 	第1回以降
第7節 点検・調査計画の検討	<ul style="list-style-type: none"> 効率的・効果的な点検と調査方法について検討 【調査単位】施設等の特性や費用対効果等を考慮して設定 【調査項目・方法】施設等の特性等に応じて検討 【調査時期】重要度や健全度を考慮して決定。土木施設は、設備の調査時期と調整して設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度検討委員会での議論をもとに、手引き案を作成した。 	第1回以降
		<ul style="list-style-type: none"> 施設業協会等にヒアリングを行い、手引きに反映する。 	第2回
		<ul style="list-style-type: none"> O&Mについて充実させる。 	第3回
第8節 施設管理計画のとりまとめ・活用	<ul style="list-style-type: none"> 戦略的目標を達成し、施設を管理するうえで必要となる具体的な対策量や点検・調査量を管理目標として数値化（P I） 計画をとりまとめるとともに、わかりやすい形で整理し関係者等へ情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度検討委員会での議論をもとに、手引き案を作成した。 	第1回以降
第5章 施設管理計画の実施	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理計画の実施の考え方を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局が原案を作成する。 	第3回
第6章 施設管理計画の評価・見直し	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理計画の評価の考え方を示す。 施設管理計画の見直し時期・見直し内容を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局が原案を作成する。 	第3回
第7章 ストックマネジメントの実践に向けて			
第1節 ストックマネジメントの段階的な実践方法	<ul style="list-style-type: none"> ストックマネジメントの実践に向けた支援的な（フローに含まれない）内容として、段階的な実践方法などの考え方等を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局が原案を作成する。 	第2回
第2節 組織体制	<ul style="list-style-type: none"> 組織（実践）体制のあり方（横断的）や民間活用（包括民間委託、PFI、PPP）などを示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局が原案を作成する。 	第3回
第8章 アセットマネジメント導入に向けて	<ul style="list-style-type: none"> アセットマネジメントへの展開に向けての課題を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局が原案を作成する。 	第3回
参考資料			
		自治体の取組み事例紹介	第1回